



みらいにつなぐ里やま

～地域課題の解決に向けて～



写真の説明（里やま塾 バンブー公園づくりの様子）

■協働パートナーの種別

NPO	地縁	社協	学校・ 大学	企業	行政	その他
-----	----	----	-----------	----	----	-----

■事業運営団体

特定非営利活動法人 NPO 富里のホタル

■協働パートナー

- ・特定非営利活動法人千葉自然学校・特定非営利活動法人子どもプラザ成田・とみさと市民活動サポートセンター・富里市教育委員会
- ・学校法人成田山教育財団はばたん幼稚園
- ・富里国際交流協会
- ・のあそびくらし(情報サイト)

■事業費 約 80 万円（単年）

■資金調達手段 寄付金、助成金 など。

事業概要

富里市は北総台地を長年の水の流れが削った谷津が多い。歴史的にコメ作りとして活用されてきたが、近年農業の効率化により、耕作放棄地となっている。ここにはホタルをはじめとする希少生物が多数生息。こうした里やまの環境を保全するため当会を発足。活動が続いていく中で他の課題（人の交流・体験・学び・憩いの場の喪失）も浮彫りになってきており、このような地域課題を解決すべく、当該事業を推進している。

協働までの経緯

当会（NPO 富里のホタル）の会員中心に活動が続けてきたが、構成メンバーの高齢化、参加人員の伸び悩みなどを克服するため、行政機関、他の団体、地域の教育機関などを通じ事業に参加頂ける方を広く募ってきた。最近では多数の新たな参加者が集まり、活動は広がりを見せている。

主な事業内容(年間スケジュール等)

①里やま塾 運営（年 4～5 回、2～3 ヶ月に一度）

古い里やまの営みをイメージした体験型イベント。幅広い年代の参画を促し、環境の維持、憩い・学び・体験の場としての定着を目的とする。

②出前授業（年 15 回程度 6 月と 10 月に集中的に実施）

近隣の小学校、幼稚園等へ出向き、生きものや里やま環境の素晴らしさを伝えていくことを目的とする。

③里やまで“里楽's(リラックス)”しよう！プロジェクト（随時）

田んぼづくり、米づくり、草刈り、木や竹の伐採、植樹などを通して里やまづくりに加わり、一緒に里やま保全

に関わる作業を実施することによって、一体感を醸成する。

● 主な協働パートナーとの役割分担

【NPO】NPO 法人 千葉自然学校

民間企業との連携、当会との協業で里やま体験を企画、運営。

【行政】富里市とみさと市民活動サポートセンター
行政機関が持つ市民連携に関する情報とプラットフォームの活用で、当該事業の参画者を募集。

【情報サイト】のあそびくらし
サイトを通じ活動の発信。新たな里やまファンの開拓に貢献。

● 協働事業によって生まれた成果

連携により当会（NPO 富里のホタル）は人的交流の機会が広がり活動参加人員の増加となった。また新たなアイデアの創出、会員たちのモチベーションアップにつながっている。

● 今後力を入れていきたいこと

この事業が永く継続していける仕組み作りに注力したい。特に活動に参加する人員やメンバーの若返りに力を入れたい。
また継続していける資金調達の方法についても検討していきたい。

♡ コラボのコツ!!

★コツ1 同じ方向を向いている方とコラボする

★コツ2 足並みをそろえる事ができる方と
コラボする

★コツ3 永くお付き添い出来る方とコラボする

同じような課題を持ち、当会の活動にもご理解ある
団体、行政機関を通じてコラボすることを心がけて
います。



協働事例プロフィール

【活動開始年】2007年 11月 【活動のPR手法】ホームページ等 URL : <https://www.tomisatono-hotaru.com/>

【この事業で活用した補助金】独立行政法人 国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成事業」

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】2025年6月）、みどりの愛護のつどい 国土交通大臣表彰

【問い合わせ先】担当者：山崎 卓 電話番号：080-5878-3088 メール：tooshiyamazaki@outlook.jp